

2011 AUTOBACS SUPER GT 第2戦 FUJI GT 400km RACE

2011年4月30日(土)~5月1日(日)

決勝 レポート

66 Laps



場所:富士スピードウェイ / 天候:雨 / コース:ウエット / 気温:14℃ / 観客動員数:36,000人

5月1日(日)

<フリー走行>

午前8時35分、フリー走行スタート。#62 R&D SPORT LEGACY B4は、まず佐々木孝太が周回を重ねる。燃料満タンの状態での4周目、1分56秒236 をマーク。300クラス5番手。クラストップのFIA-GT 車輦は52秒台と雨でもとにかく速い。#62は改善の兆しを見せている。セッティングの方向性は悪くなかったようだ。後はもう少しコーナリングに安定感が出来れば十分戦えそうである。午後の決勝に向け、チームはマシンセッティングを進めた。

<決勝>

午後2時00分、フォーメーションラップ開始。グリッドに並ぶ車輦が一斉にエンジン始動、サーキット中にエンジン音が響き渡る。今回は強雨のため、セーフティーカー先導のスタートとなった。セーフティーカーの後に続き、各マシンは隊列を維持、スタートドライバーを務める山野は10番手グリッドから、車輦を慎重に進めた。5周目にセーフティーカーがピットインし、全車は一斉に1コーナーに向け加速する。トップ集団で若干の順位の入替わりがあったが、山野は6番手で戻ってくる。さすが山野、悪コンディションを逆手に取った走りである。8周目には4番手、13周目には1コーナーで1台パスして3位に浮上する。ポジションをキープして34周目にピットイン。佐々木にドライバーチェンジする。佐々木も安定した素晴らしい走り続け、上位入賞も可能となってきた。しかし、47周目、佐々木より、電気系に異常との無線が入る。ピットからは出来る限りの対



www.rdsport.net

策指示を出したが、50周目、最終コーナーで車両はストップ、レースを終えることとなった。その後、レースは、赤旗中断を機に59周回の結果を以って終了となった。規定周回数を満たした#62は完走扱いとなり18位というリザルトを残した。なお、500クラスの優勝は#23 MOTUL AUTECH GT-R、300クラスは#33 HANKOOK PORSCHE が制した。



■本島監督コメント



ドライバーが頑張ってくれていただけに、車両のトラブルでリタイアしてしまった事は非常に残念です。今回のデータを元に岡山までに問題点を見直します。応援してくださっている皆様のご期待に応えられるよう、進化し続けたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。しかしFIA-GT 車両は速かったですね！！

■山野 哲也 コメント



3年目となるレガシィのチャレンジが始まりました。毎年、劇的な仕様変更を繰り返したスバル唯一のレーシングマシンは、新デザインのフレームワークにより2011年更なる進化を遂げました。フリー走行、予選ともにグリーンランプ点灯直後から上位に顔を出せるようになったのは、速さがついてきている証拠。まずまずのスタートだったと思います。決勝は近年では珍しい雨。セーフティーカー先導のスタートとなったため、およそ3周の間でコース上のリスクなポイントのチェック、グリップする路面箇所の把握、ブレーキバランスの前後調整がしっかりできたおかげで、とてもいいスタートが切れました。残念ながらチェッカーを受けることはできませんでしたが、スバルファンの期待に応えることができるシーズンになりそうです。応援よろしくお願ひします。

■佐々木 孝太 コメント



震災の影響もあり、ほとんどテストなしでの開幕戦になりましたが、結果的には今後の可能性を感じ取れたレースでしたね。でもシリーズを考えるとすごくもったいない結果。まだまだ速くなると思うので次戦に向けてチームとしっかりデータを分析したいと思います。

決勝の詳細に関しては SUPER GTホームページ <http://supergt.net/jp/>
またSUBARUモータースポーツニュース <http://www.subaru-msm.com/news/> もご覧ください

2011年5月1日
SUBARU LEGACY B4
TEAM アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net